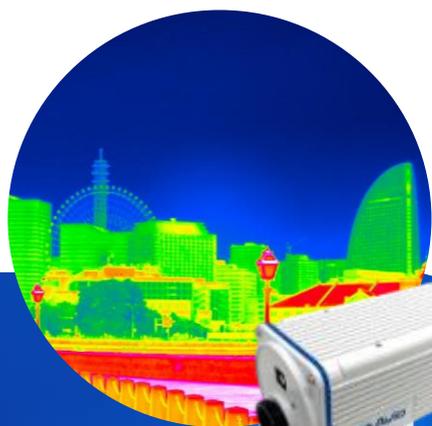


日本アビオニクス株式会社



第73期定時株主総会 (開会)

2023年6月27日



出典：防衛省HP

議決権保有株主様 2,381名

議 決 権 数 31,746個

基 準 日 2023年3月31日

お手元の招集ご通知
「33～34頁」を
ご覧ください

1. 第73期（2022年4月1日～2023年3月31日）
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに
会計監査人および監査役会の連結計算書類
監査結果報告の件
2. 第73期（2022年4月1日～2023年3月31日）
計算書類内容報告の件

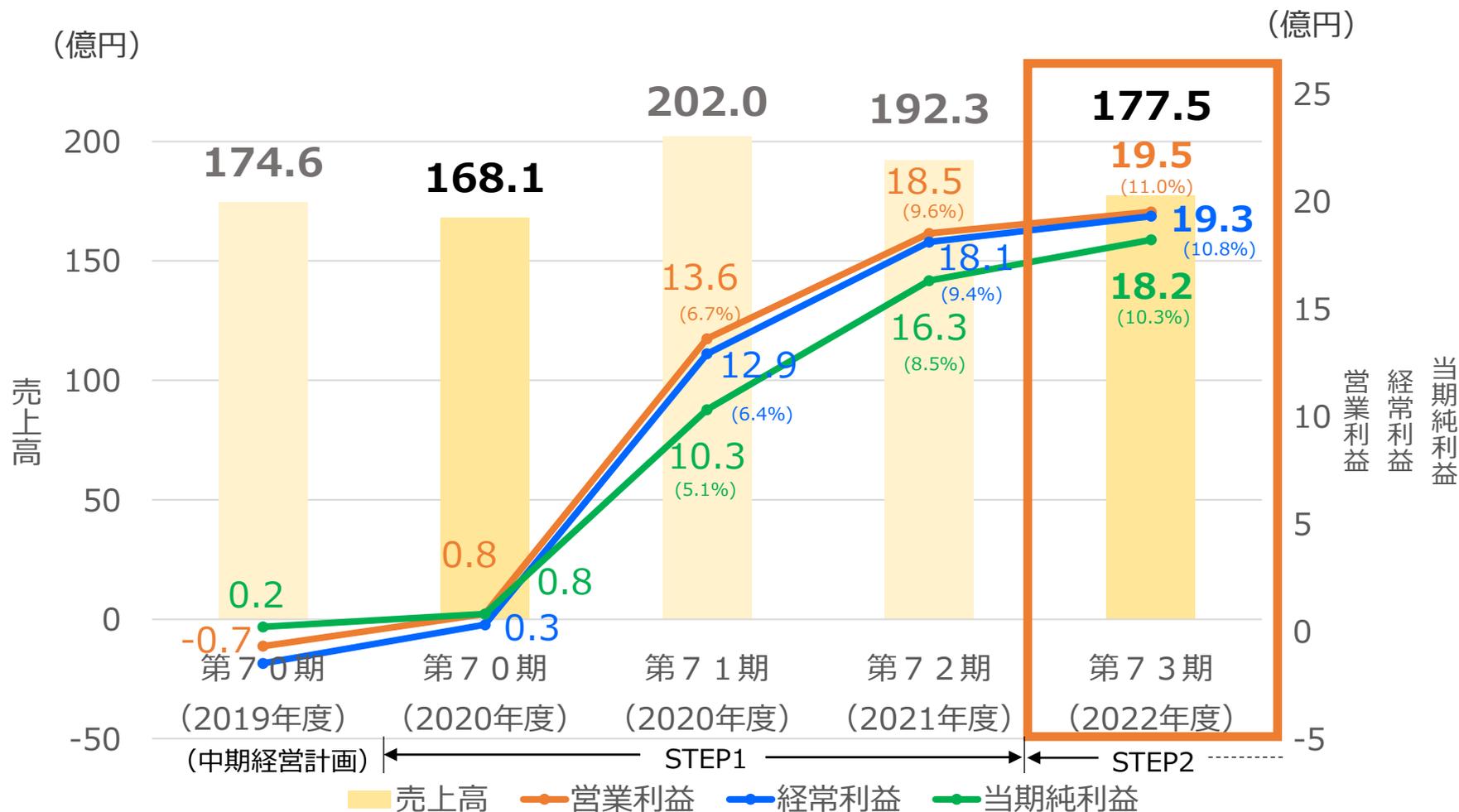
事業環境

- ウクライナ情勢の長期化、中国経済の新型コロナウイルス対策による景気への影響、原材料価格の上昇や供給面での先行き不透明感などで厳しい状況が続いた
- スマートフォンの需要減や半導体不足等による電子部品関連メーカーおよび自動車関連メーカーの減産に伴い、回復を見込んでいた設備投資に足踏みがみられた

業績の状況

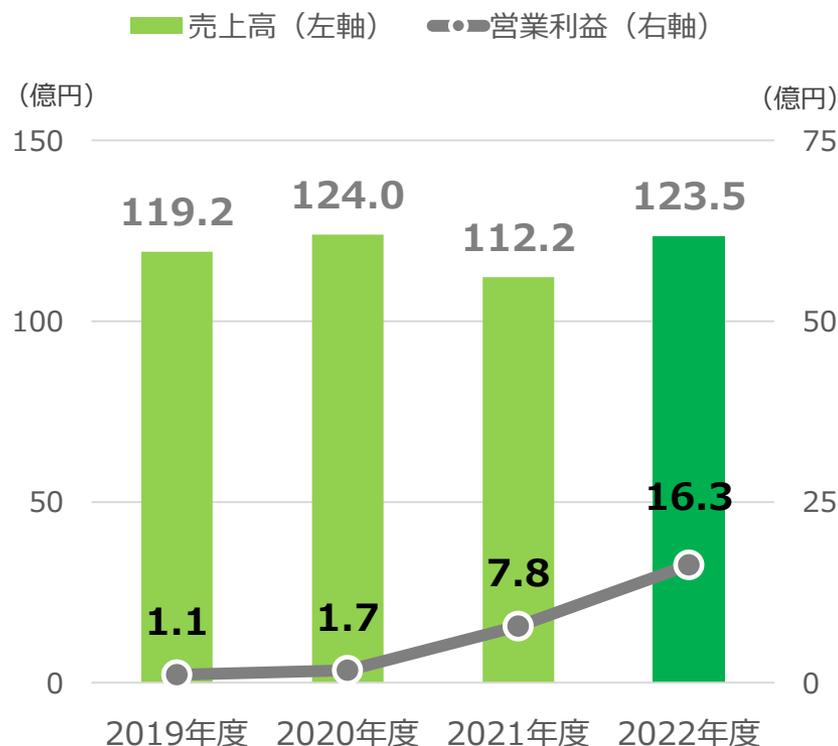
- 経常利益は上場来最高値
- 営業利益率・経常利益率・当期純利益率も上場来最高値更新

営業利益、経常利益、当期純利益ともに4期連続増益



情報システム事業

売上高増加、営業利益増加



売上高

- 当社得意領域の艦船搭載表示装置を中心に大型プロジェクト等で受注拡大し、売上増加

営業利益

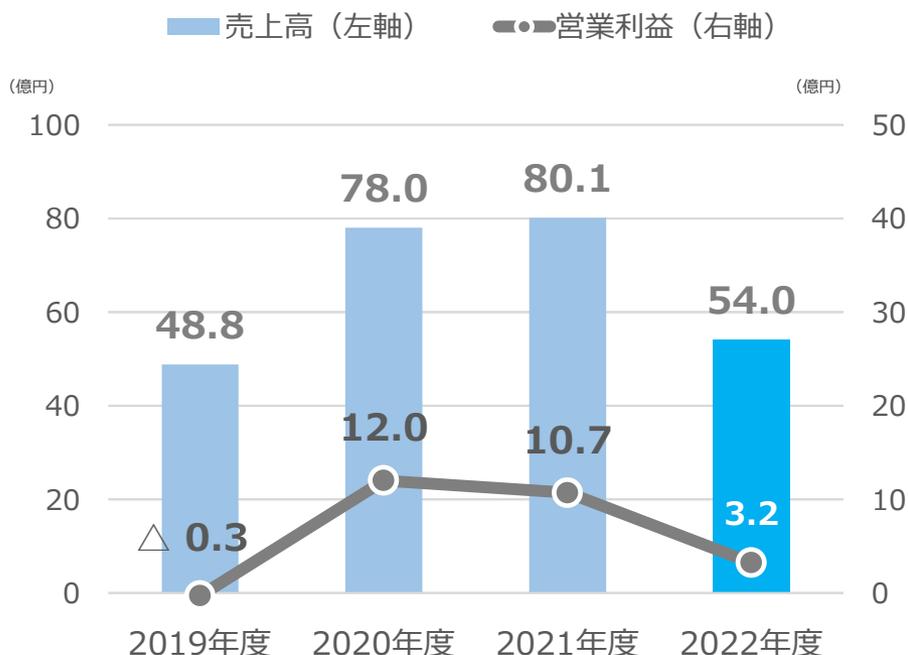
- プロセス改善により収益性が向上し、大幅増益

事業環境

- 防衛予算は概算要求時の装備品を全数確保し、補正予算含め前年比で大幅な増額

電子機器事業

売上高減少、営業利益減少



売上高

- スマートフォン関連や民生機器の需要減及び設備投資計画の見直しの影響により、前年比減少

営業利益

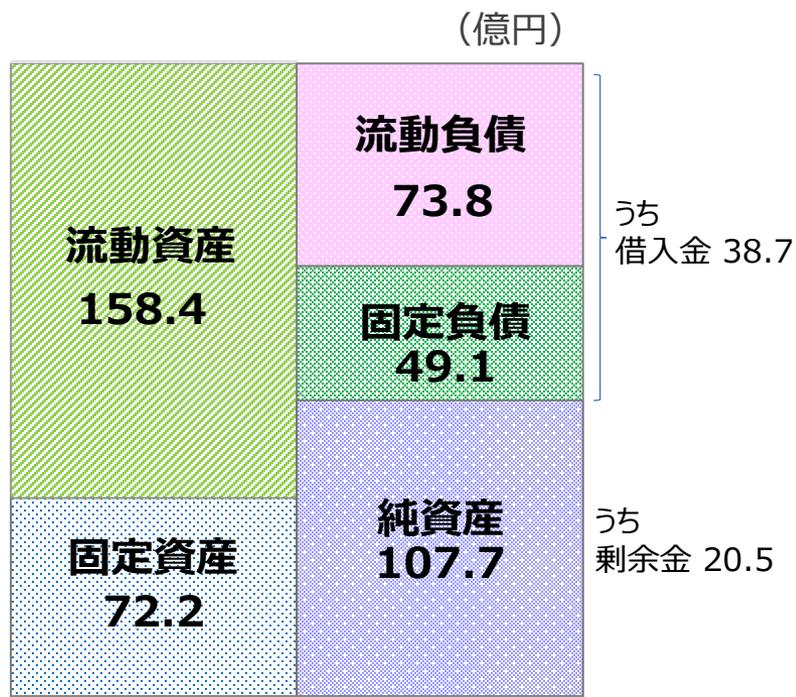
- 売上高の減少に伴い減少

事業環境

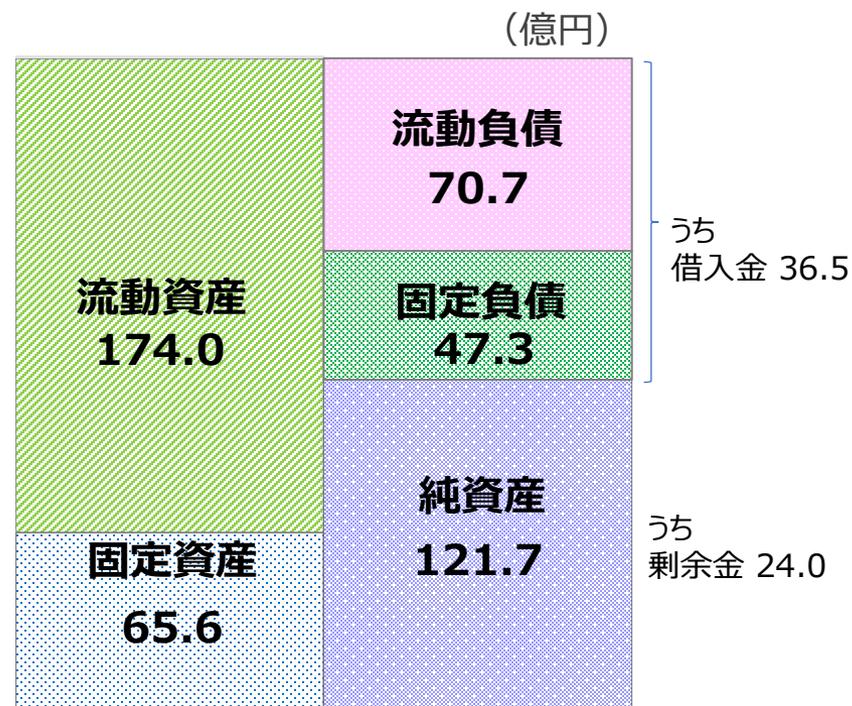
- ウクライナ情勢、米中貿易の行方、中国の生産状況、スマートフォン需要減による設備投資抑制、原材料の高騰など不透明さが継続

財務体質が向上 2023年度以降、成長へ向けた投資を加速

2021年度（2022年3月末）
総資産 230.6億円



2022年度（2023年3月末）
総資産 239.6億円



計算書類につきましては
お手元の招集ご通知26頁から28頁に
記載の通りであります

中計方針 安全、安心、豊かな社会の実現へ貢献し、企業価値を向上

経営方針 “顧客価値経営の推進” 顧客価値を向上し、営業利益拡大

目指す姿 「筋肉質で強くて良い会社」へ 継続して営業利益15%以上

中計のシナリオ

STEP 1
2019~2021

事業基盤確立
- 費用構造改革
- プロセス改革

STEP 2 2022~2024

STEP 3 の更なる成長に向けた準備・投資

経営基盤強化

技術力×ものづくり力×営業力



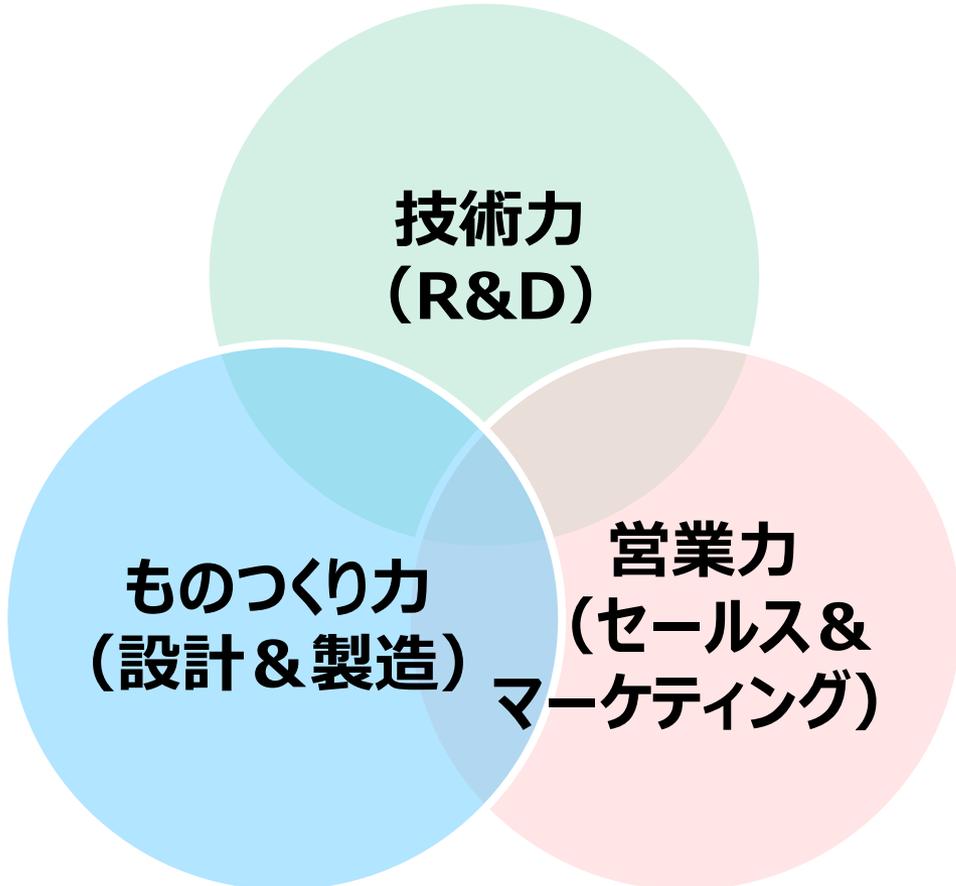
組織活性化
(人財、ウェルビーイング、DX)

成長戦略推進

STEP 3
2025~2027

更なる成長へ

- 更なる成長に向けて、「技術力」「ものづくり力」「営業力」の3つの力を強化



技術力
(R&D)

ものづくり力
(設計&製造)

営業力
(セールス&
マーケティング)

■ 技術力（R & D）

研究開発に重点投資し、新たな製品、ソリューションを生み出し競争力向上
2023年度研究開発投資はAIなどの技術研究含め6.5億円を計画
(前期比30%増)

■ ものづくり力（設計&製造）

- ・設計によるコスト低減
- ・設計改善や製造プロセス見直しによる製造工数低減

■ 営業力（セールス&マーケティング）

- ・営業DX
- ・マーケティング力強化

2024年度営業利益26億円を目指す

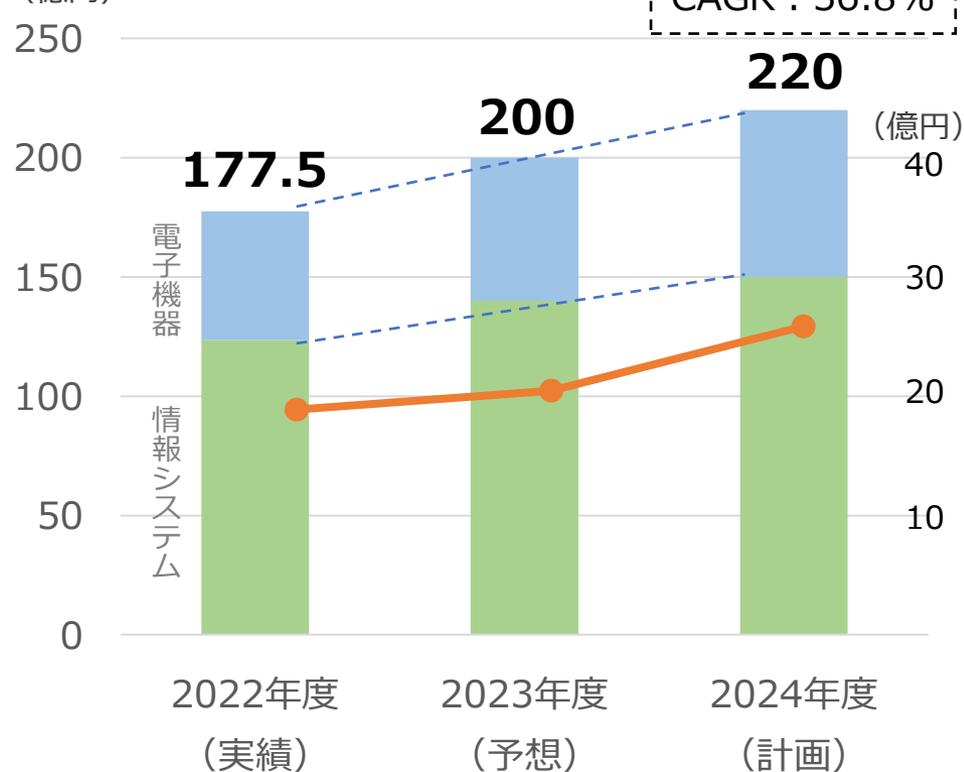
情報システム事業：既存事業領域の拡大と新規事業領域の獲得

電子機器事業：市況の変化を素早く捉え差別化提案と改善活動の促進

(億円)

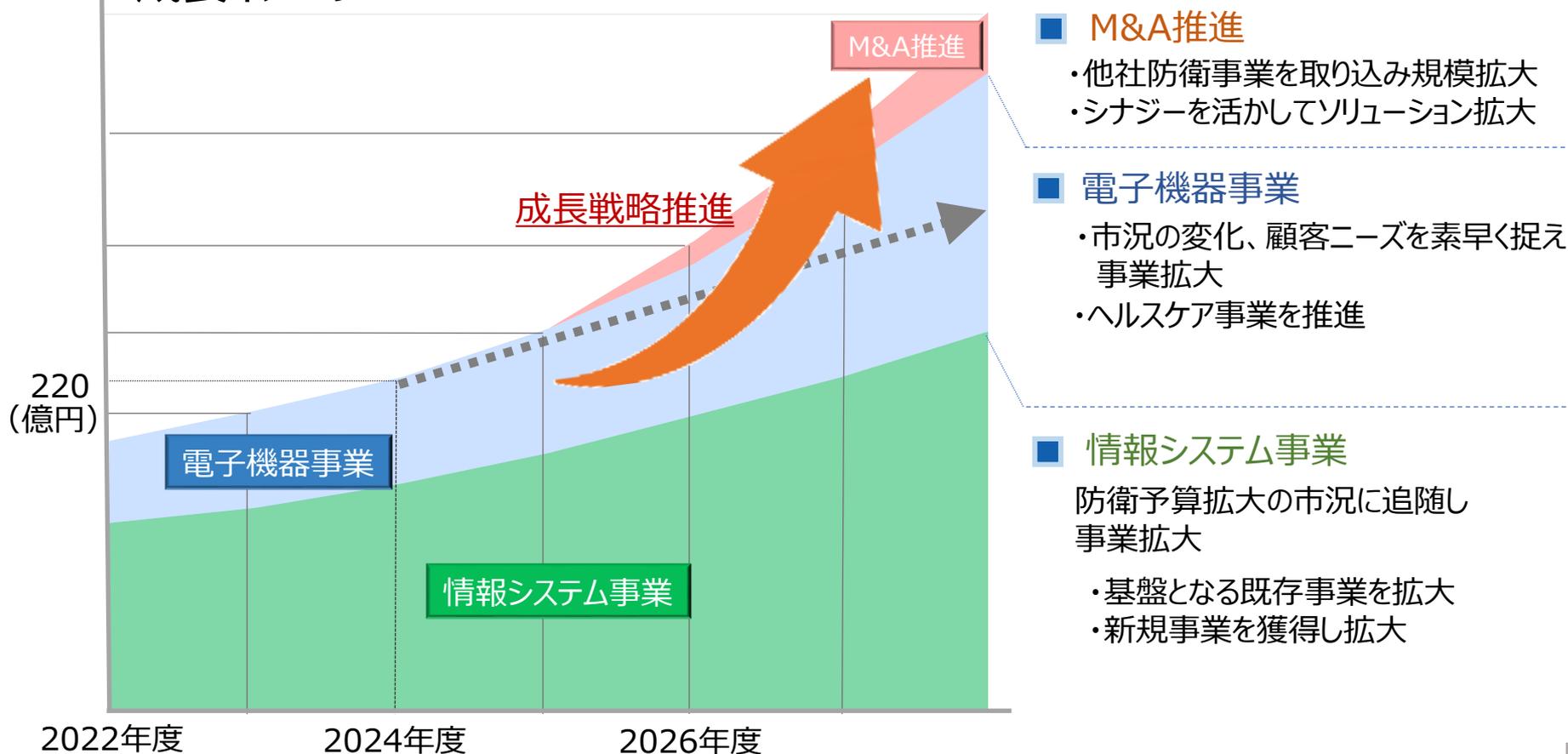
	2022年度 実績	2023年度 予想	2024年度 計画
売上高	177.5	200.0	220.0
営業利益	19.5	20.5	26.0
EBITDA	21.7	24.0	30.0
ROE	15.9%	10%以上を計画	

(億円)



- 2024年度中計値を確実に達成し、積極的な成長投資により更なる成長を目指す

成長イメージ



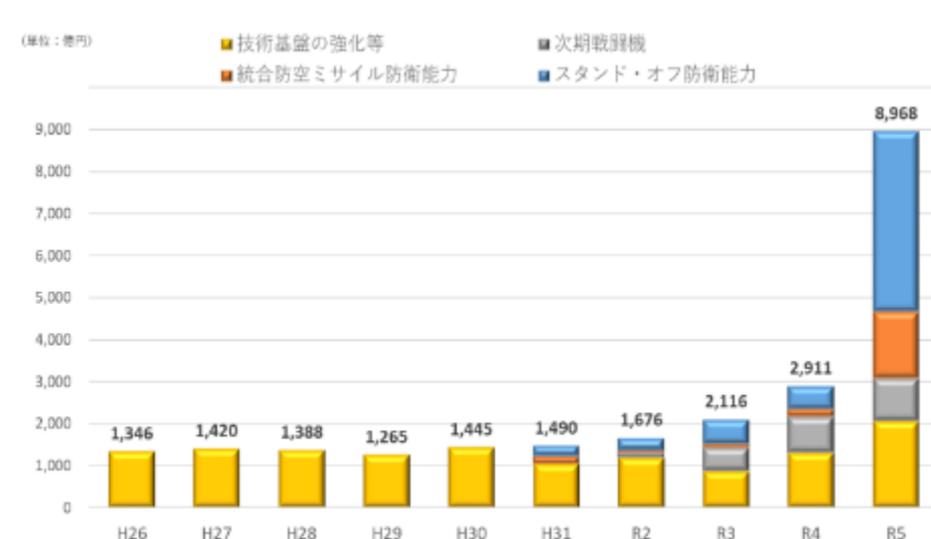
市場環境

防衛予算拡大。スタンド・オフ防衛、無人アセット防衛など次世代の防衛装備品の開発が活発化

令和5年度予算の配分方針

区分	分野	5年間の総事業費 (契約ベース)	令和5年度事業費 (契約ベース)	令和5年度事業費 (歳出ベース)
スタンド・オフ防衛能力		約 5 兆円	約 1.4 兆円	約 0.1 兆円
統合防空ミサイル防衛能力		約 3 兆円	約 1.0 兆円	約 0.2 兆円
無人アセット防衛能力		約 1 兆円	約 0.2 兆円	約 0.02 兆円
領域横断作戦能力	宇宙	約 1 兆円	約 0.2 兆円	約 0.1 兆円
	サイバー	約 1 兆円	約 0.2 兆円	約 0.1 兆円
	車両・艦船・航空機等	約 6 兆円	約 1.2 兆円	約 1.1 兆円
指揮統制・情報関連機能		約 1 兆円	約 0.3 兆円	約 0.2 兆円
機動展開能力・国民保護		約 2 兆円	約 0.2 兆円	約 0.1 兆円
持続性・強靱性	弾薬・誘導弾 (他分野も含め約1兆円)	約 2 兆円	約 0.2 兆円 (他分野も含め約0.8兆円)	約 0.1 兆円 (他分野も含め約0.3兆円)
	装備品等の維持整備費・可動確保 (他分野も含め約1.0兆円)	約 9 兆円	約 1.8 兆円 (他分野も含め約2.5兆円)	約 0.8 兆円 (他分野も含め約1.3兆円)
	施設の強靱化	約 4 兆円	約 0.5 兆円	約 0.2 兆円
防衛生産基盤の強化		約 0.4 兆円 (他分野も含め約1兆円)	約 0.1 兆円 (他分野も含め約0.1兆円)	約 0.1 兆円 (他分野も含め約0.1兆円)
研究開発		約 1 兆円 (他分野も含め約0.5兆円)	約 0.2 兆円 (他分野も含め約0.5兆円)	約 0.1 兆円 (他分野も含め約0.2兆円)
基地対策		約 2.6 兆円	約 0.5 兆円	約 0.5 兆円
教育訓練費、燃料費等		約 4 兆円	約 0.9 兆円	約 0.7 兆円
合計		約 43.5 兆円	約 9.0 兆円	約 4.4 兆円

研究開発費予算 (契約ベース)



出典：2023.03.28 我が国の防衛と予算－防衛力抜本的強化「元年」予算－令和5年度予算の概要（防衛省）

参入ターゲット

防衛力整備計画に記載の主要項目	事業獲得ターゲット分野
スタンド・オフ防衛	飛行体、管制装置
統合防空ミサイル防衛	飛行体、管制装置、信号処理装置、表示装置、生産ライン、試験環境
無人アセット防衛	群制御＋シミュレーション、防御システム
領域横断作戦	画像処理装置、5G通信装置、情報統合装置、通信制御AP
指揮統制・情報関連機能	通信制御装置、信号処理装置
機動展開能力	車体制御装置

事業戦略

防衛予算拡大の市況に追随し、防衛力整備計画からターゲット領域を定めて事業拡大を目指す

既存事業領域の拡大

統合防空ミサイル防衛

指揮統制

機動展開

情報関連

AI

VR

音声
認識

機能・性能・精度向上
ユーザIF・アシスト機能追加
処理能力向上・自動化

警戒管制レーダ



ホログラム表示



AR/VR



新規事業領域の獲得

スタンド・オフ防衛

領域横断作戦
(宇宙/サイバ-/電磁波)

無人アセット防衛

次期戦闘機

AI

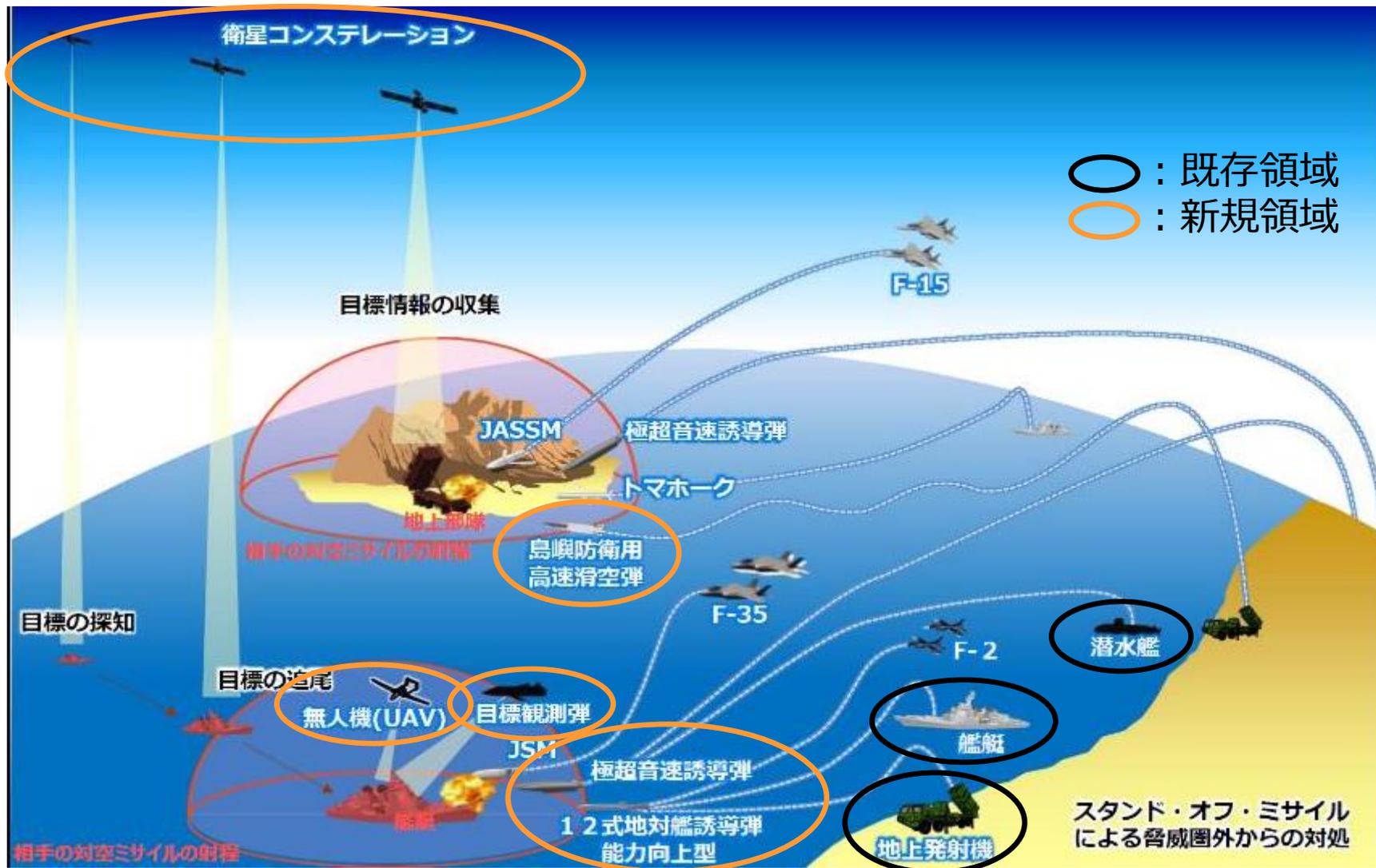
耐環境
性

高性能
センシング

高性能プラットフォームの提供
探知能力向上
自動識別機能



スタンド・オフ防衛



出典：防衛省HP

事業戦略 ②接合機器事業 (1/3)



市場環境

- EV車など環境にやさしい製品が増加
- ものつくりにおける品質向上や省人化要求が加速

事業戦略

世の中のメガトレンドの中でターゲット市場を絞り、顧客価値提案により市場を開拓

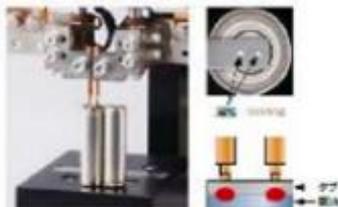
電池

リチウムイオン電池世界規模 (2022→2025)



1.4倍

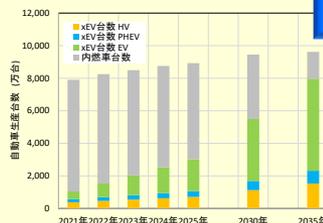
インバータ式抵抗溶接機
銅合金タブ溶接



出典：富士経済「リチウムイオン二次電池世界市場」を基に算出

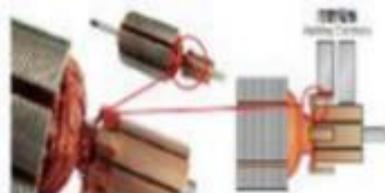
モータ

EV車生産台数 (2022→2025)



4倍

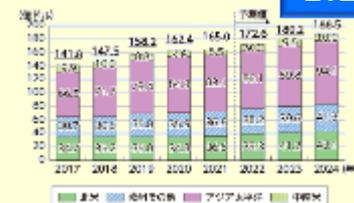
高出カインバータ式抵抗溶接機
コイル線接合 (ヒュージング)



出典：日経BP調査データ、富士経済第22086号データを基に算出

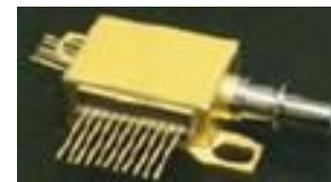
光通信

LD部品市場規模 (2022→2025)



1.2倍

シーム溶接機
レーザダイオード封止溶接



出典：総務省令和4年度版情報通信白書を基に算出

顧客価値提案

■ 「接合」+付加価値

接合機器、接合装置



AI

センシング

“つける”に検査を加えたソリューション提供

■ 前工程検査



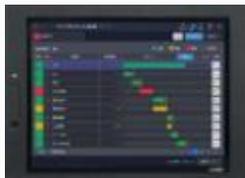
部品搭載判定

■ 接合後検査



「接合品質」判定

■ トレースリテ



- ・水晶振動子搭載（前工程）位置検査
- ・履歴（データ）自動収録
- ・兆候監視、トラブル要因自動分析
- ・webサーバ機能（モニタリング）

■ 装置化

4工法接合技術



画像
認識

メカトロ
ニクス

真空
技術

顧客ニーズに応えた接合装置を提供



シーム封止装置



ACF圧着装置



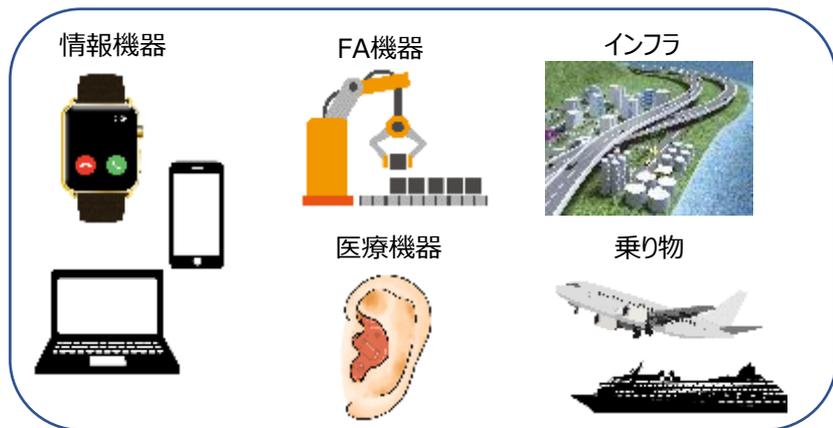
ヒュージング装置

- ・水晶デバイスの小型化に対応した封止装置開発
- ・ACF圧着装置やヒュージング装置、樹脂溶着装置等
4工法の装置化を提案・提供

全固体電池用封止装置を開発し、市場投入

■ 全固体電池の用途例

リチウム電池、アルミコンデンサから置き換えが促進



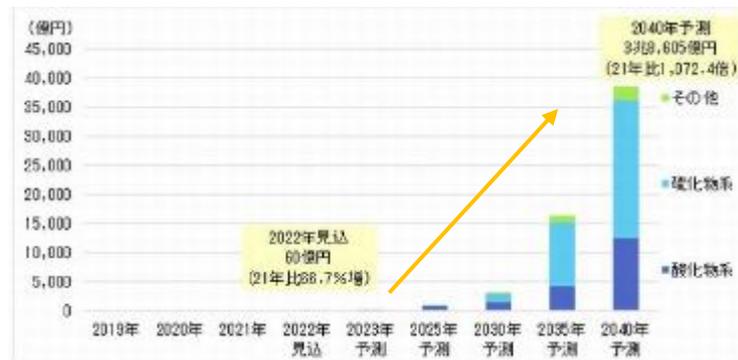
全固体電池のメリット -リチウムイオン電池比-

1. 高い安全性 (非可燃、高温耐久)
2. 高効率 (高エネルギー密度)
3. 長寿命 (低自己放電)

■ 全固体電池の顧客価値向上に貢献

- ・高い気密性、防水性 ⇒ 吸湿による性能低下抑制
- ・真空断熱 ⇒ 高温耐性維持による経年劣化抑制
- ・多彩なパッケージに対応 ⇒ 小型、薄型、カスタム電池

■ 全固体電池の世界市場予測

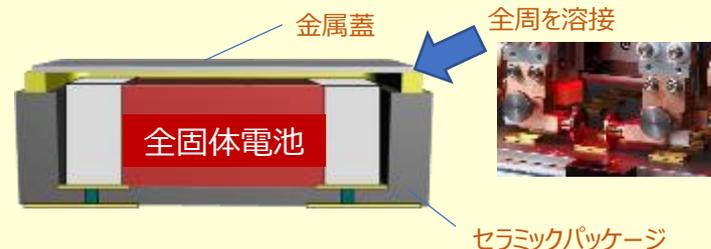


出典：富士経済

■ 全固体電池の封止技術

水晶デバイス気密封止技術を応用

全固体電池をセラミックパッケージに入れ
金属蓋の全周を溶接して気密 (真空) 封止



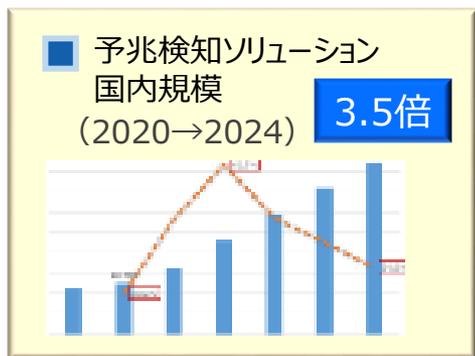
市場環境

老朽化対策、事故防止など安全で持続的な社会へのニーズ増大
ものづくりにおける省人化や効率化、健康課題への対応のニーズ増大

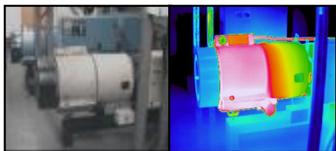
事業戦略

産業保安、スマートファクトリー、ヘルスケアの3つの市場に的を絞り
顧客価値を提案し、ソリューションを提供

産業保安

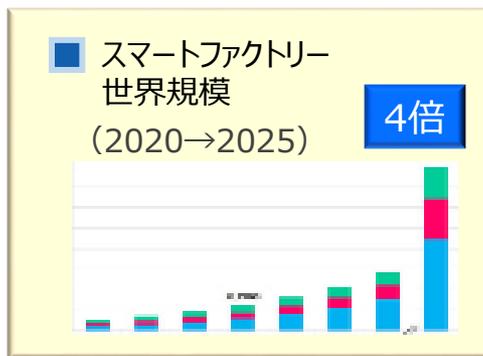


設備の安全監視

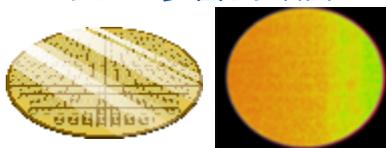


- 発電・送電・変電設備
- 石油・化学プラント
- 橋梁・建物
- 電動機等の設備

スマートファクトリー



ウェハの歩留まり改善

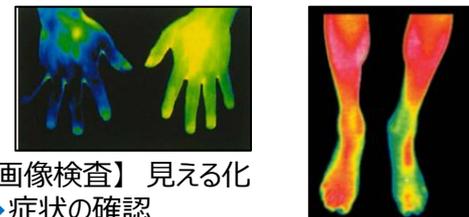


- 半導体
- 電子部品
- モーター
- 自動車
- 電池

ヘルスケア



診療検査



- 【画像検査】見える化
- ◆ 症状の確認
 - ◆ 治療効果の観察

出典：富士経済「リチウムイオン二次電池世界市場」を基に算出

出典：日経BP調査データ、富士経済第22086号データを基に算出

出典：総務省令和4年度版情報通信白書を基に算出

顧客価値提案

■「赤外線センシング」+ 特殊計測技術

サーモカメラ



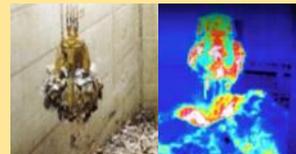
特殊
波長

超高速

画像
処理

■「異常検知」 ⇒ 「予兆検知」

発火監視



ごみピット



変電設備

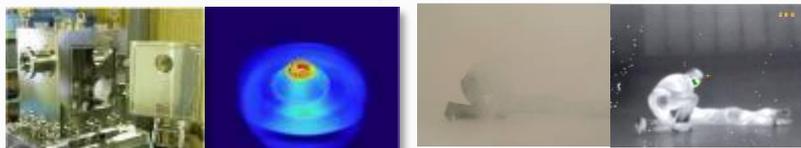
AI

各種
センシング

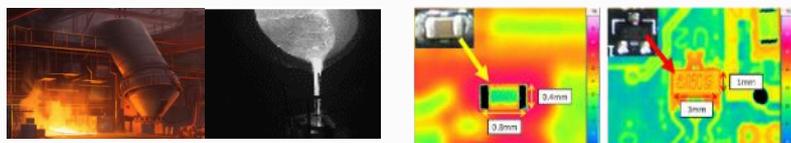
エッジ
処理

見えないものを視るソリューションを提供

■ ガラス越し (チャンバ内) ■ 煙越し (人命救助)



■ 金属表面 (溶鉱炉) ■ 微小欠陥 (デバイス)



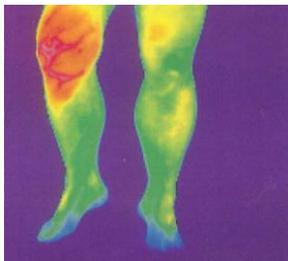
予兆を検知して知らせるソリューションを提供



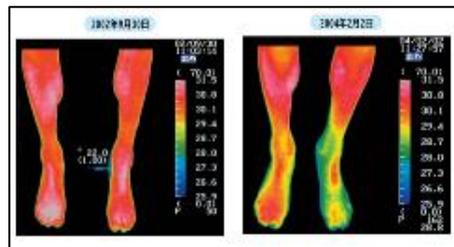
医用サーモカメラを開発中 (2023年度中に発売目標)

■ 検査への活用が期待される医療現場

【整形外科】 関節炎

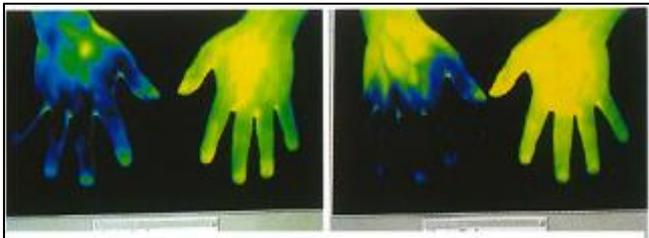


【内科】 糖尿病



出典：糖尿病外来 青山雅、姫井孟
倉敷生活習慣病センター

【リハビリ科】 振動障害



出典：日本サーモロジー学会テキスト



国内唯一の医用サーモカメラの 開発コンセプト

- ・患者、医師の負担を軽減
- ・幅広い検査に応用
- ・時系列比較が容易
- ・視覚的にわかりやすい
- ・簡単操作
- ・常設、巡回診療で使用可

その他【形成外科】、【産婦人科】、【外科】、【リウマチ科】、【皮膚科】、【耳鼻科】など
様々な医療現場での活用を期待

サステナビリティ基本方針①

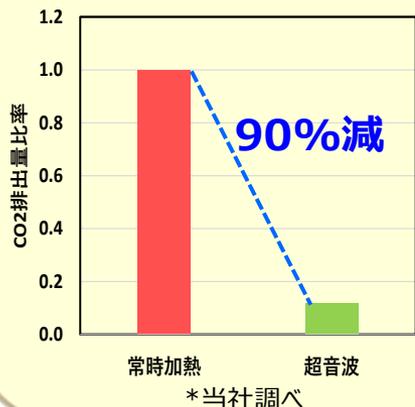
当社は世の中の環境負荷低減に寄与する製品・サービスの提供を通じて持続可能な社会の実現に貢献いたします



日本アビオニクスは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



■ お客様のCO2排出を削減する 接合機器



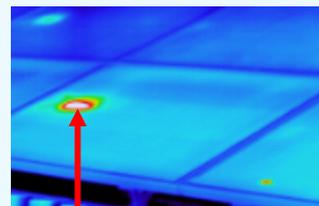
自動車内装かしめ時
におけるCO2を削減



常時加熱機器を超音波機器
に変えるだけで接合時のCO2
排出を90%削減

■ 太陽光発電等の環境にやさしい製品の メンテナンスに役立つサーモカメラ

ソーラシステム設備保全に
貢献するサーモカメラ



ホットスポット

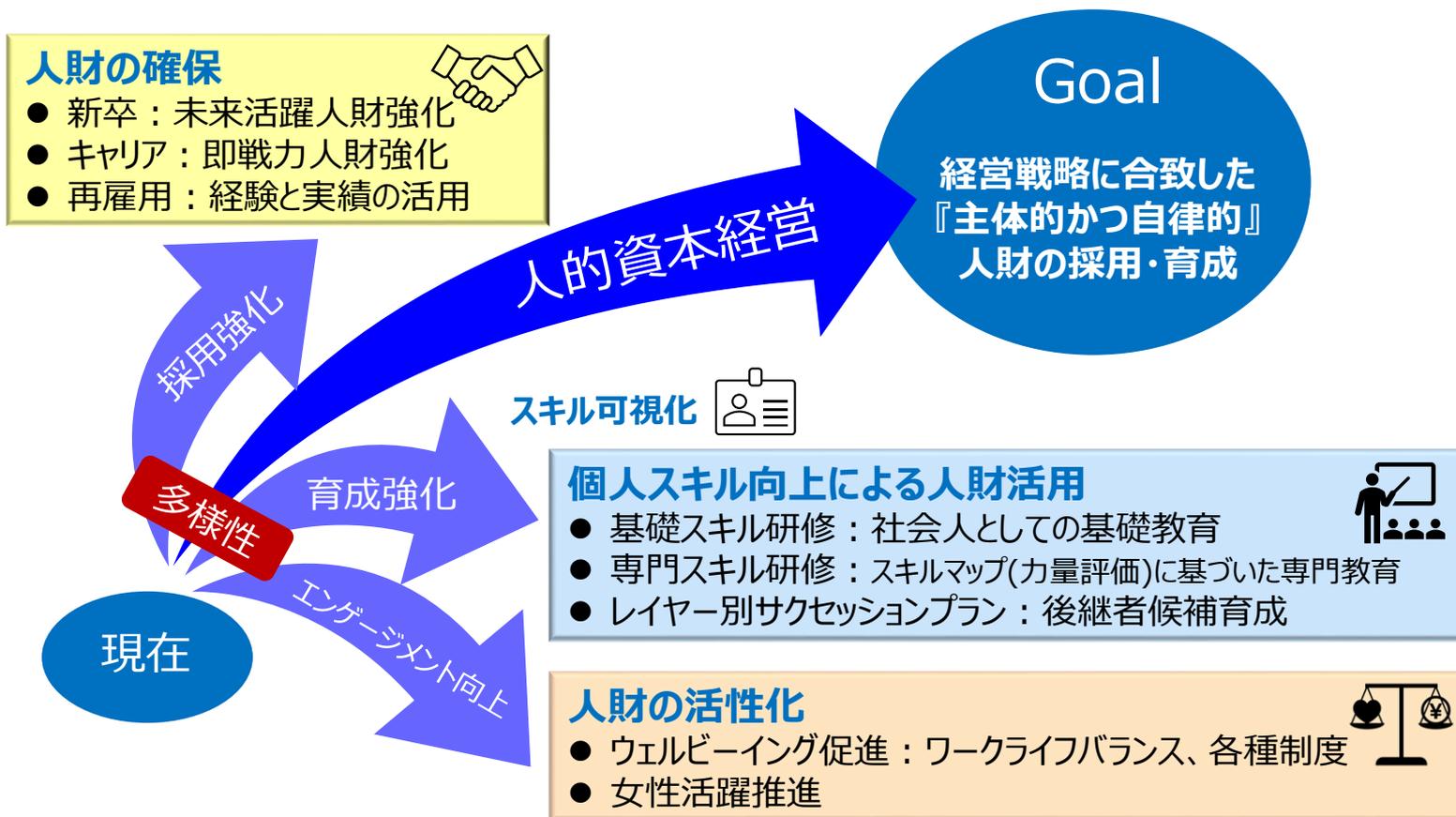
ソーラパネルのメンテナンスにおいて、当社サーモカメラを使用することで、ホットスポットなどの異常個所を容易に検出。エネルギーの効率化に役立ちます

サステナビリティ基本方針②

会社成長の源泉は「人財」であると認識し、
人的資本を強化いたします



日本アビオニクスは持続可能な開発
目標（SDGs）を支援しています



■ 配当：2023年3月期、15期ぶりに復配（30円/株）

配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項と認識しており、企業体質の安定を図りながら、当期の業績等を総合的に勘案して、適正な配当を継続していくことを方針としております。

■ 自己株式取得

当社PER：6.5倍（5月12日現在） ※参考：東証スタンダード電気機器平均12.8倍
資本効率を高め、企業価値を向上するため自己株式取得を決定。

- ・取得期間：2023年5月～2024年3月
- ・取得上限額：3億円

今後は、成長戦略に向けた投資で、利益を最大化し、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

「安全で豊かな社会の実現に貢献」

着実に実力を付け、収益性を大きく向上

- 4期連続増益達成
- 営業利益率等、上場来最高値更新
- 株価の大幅アップ、15期ぶりの配当

「筋肉質で強くて良い会社」へ

引き続き、経営基盤の強化を進めるとともに、
更なる成長に向けて、今まで出来なかった
積極的な投資による成長戦略推進をはかり、
売上・利益拡大と企業価値向上を目指します



以上をもちまして
報告事項のご説明を
終わらせていただきます

配当の内容

1. 配当財産の種類	金銭
2. 普通株式配当金	30円
配当総額	95,600,850円
第2種優先株式配当金	13.864円
配当総額	6,377,440円
配当総額の合計	101,978,290円
3. 効力を生じる日	2023年6月28日

変更の理由

第1種優先株式その発行済株式の全部を取得および消却したことから、第1種優先株式に関する規定を削除するものであります。

変更の内容

招集ご通知36～43頁をご覧ください。

取締役候補者

再任 竹内正人

再任 山後宏幸

再任 呉文精 社外

再任 加藤精彦 社外

再任 海野忍 社外

再任 稲垣伸一

監査役候補者

新任

青 山

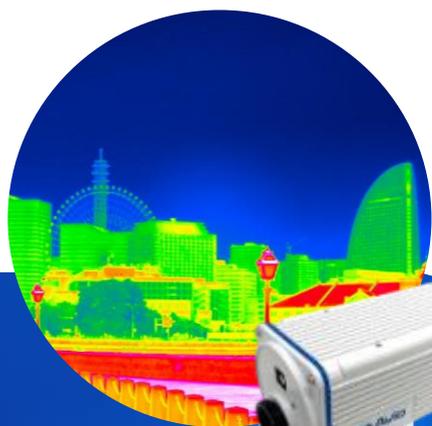
薫

社外

日本アビオニクス株式会社



第73期定時株主総会 (閉会)



出典：防衛省HP





日本アビオニクスは、独自のエレクトロニクス技術とシステム技術により、お客様のために新しい価値を創造し、安全で豊かな社会の実現に貢献します。
